

## 〇区の魅力と活力を高める取組を推進するためのアクションプラン（イメージ）

### 1 アクションプランの策定に当たって

#### (1) アクションプラン策定の趣旨

広島市には八つの行政区があり、区によって人口、地勢、産業構造、地域資源、歴史・文化などに違いがあり、地域が抱える課題も様々です。

〇区では、区役所が区民に身近な行政窓口の役割を担うとともに、〇区まちづくり支援センターを中心に、地域の特色を生かしながら、区民のみなさんの思いをより反映したまちづくりを進めることにより、住みやすさ・暮らしやすさを実感できるまちの実現を目指しています。

そのためには、区民のみなさんによる主体的なまちづくりの推進も必要不可欠になります。

そこで、区民のみなさんと区役所等がともに〇区の今後のまちづくりの方向性を共有しながら、これまで以上に住民主体のまちづくりに取り組んでいくため、本アクションプランをまとめました。

また、広島市では、200万人広島都市圏構想を掲げ、経済面や生活面で結び付きのある近隣市町との連携や交流によって、誰もが“住み続けたい”“住んでみたい”まちの実現を目指しています。〇区においても、〇市や〇町といった近隣市町との連携や交流に積極的に取り組み、〇〇地区全体の活性化に貢献する取組を推進します。

#### (2) 計画期間

平成 32 年度（2020 年度）から平成 36 年度（2024 年度）までの 5 年間とします。

#### (3) アクションプランの位置付け

本アクションプランは、第 6 次基本計画に掲げる「区における地域住民を主体としたまちづくり活動の充実」及び「まちづくりの方向性」を区民のみなさんと行政が協働して実現していくための計画として策定します。

### 2 〇区の現状と課題

《略》

### 3 〇区のまちづくりの方向性

#### (1) まちづくりの方向性

〇区では、地域の課題解決や地域の魅力と活力の向上に資する区民のみなさんの主体的かつ継続的な活動を効果的に支援することによって、地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりの推進に取り組みます。

ここでは、〇区の現状や、区のまちづくり懇談会などでみなさんからいただいた意見を踏まえ、〇区の五つのまちづくりの方向性と主な取組をまとめています。また、区のまちづくり懇談会で話し合った、住民のみなさんが主体となって取り組む活動についてもご紹介します。

#### 【主な取組】

まちづくりの方向性① 人々が交流する活力あるまちづくり

#### 概要

来街者に対するおもてなしの心あふれる都心づくりを進めるとともに、地域との連携によるイベントなど集客へのしかけづくりを支援します。

- ・まちづくり懇談会で議論した住民主体の取組の紹介
- ・区独自で指標の設定や年次計画を設定してもよい。

○ おもてなしの心あふれる都心づくり

商業・業務・文化の中心地である区の特徴を活かし、人々が集うおもてなしの心あふれる都心づくりを目指します。

- ③ ○○地区では、観光や会議で○区を訪れる人に楽しんでもらえるよう、テーマ別の案内マップを作成し、来街者へのおもてなしの向上を目指す。
- ③ ○○地区では、繁華街に多くの人を訪れてもらえる安全で快適なまちづくりを進めるため、清掃活動やパトロール活動を行う。

○ 商店街の活性化

地域活性化に産業が果たす役割を踏まえ、商店街を核としたまちづくりを行い、空き店舗の活用などを支援します。

- ③ ○○地区では、○○商店街を中心に、△△発祥の地として、△△を使ったスタンプラリーの開催や最優秀△△を決めるコンテストの開催など、にぎわいづくりに資する取組を実施する。
- ③ ○○商店街では、空き店舗を活用し、地域の学校や団体などの活動の発表の場として、ギャラリーや自主制作映画の上映会などを開催し、様々な集客への仕掛けづくりを行う。

○ 海と陸の玄関を生かしたにぎわいの創出

多くの人を訪れる広島市の陸の玄関である広島駅と、海の玄関である広島港の魅力を活かしたにぎわいづくりを創出します。

《略》

まちづくりの方向性② さまざまなコミュニティを育むまちづくり

概要

地域課題の解決やまちの活性化を支援するとともに、○区に住む人、働く人、学ぶ人など多様なコミュニティの交流を進めます。

○ 地域コミュニティの充実

それぞれの地域特性を活かしながら、地域コミュニティの活動がより充実するよう支援し、1人でも多くの人々が地域活動に携わるよう、地域力の向上を目指します。

- ③ ○○団地では完成から40年が経過し、高齢化が進む一方、若い子育て世帯も増加しているため、団地内の空き家を地域の活動・交流拠点とし、高齢者から子どもまで幅広い世代が集う交流の場とする。
- ③ ○○地区では、○○駅前の再開発により、新たに建設されたマンションで住民が生活を始めており、以前からその地域に暮らす住民との交流を促進するため、共同でのイベントの開催や地域活動の実施(○○公園での花見、お祭りの開催、清掃活動など)により、地域コミュニティの活性化を図る。
- ③ ○○地区では、外国人市民が増加しており、外国人コミュニティと地域との交流を図るため、

多文化交流フェスティバルの開催やお互いの国の料理を紹介する料理教室の開催など、相互の理解を深める取組を実施する。

○ 多彩な人材と地域の特性を活かしたまちづくり

行政、地域、大学などが連携し、多彩な人材と地域の特色を活かした魅力あるまちづくりを推進します。

- 区内の各地域団体と△△大学の大学生が連携し、○○コミュニティフェスティバルを開催する。催し物、バザー、ゲームなど、各団体が企画・運営し、地域間の交流を図る。
- 区内にある○○大学、△△大学、□□大学と連携協定を結び、各大学の学生が「○区民まつり」や地域行事でのボランティアを行い、地域の担い手となる人材の育成を推進する。

まちづくりの方向性③ 身近な自然と文化が息づくまちづくり

概要

身近な自然を守り、育てる活動を進めるとともに、文化や歴史的資源を生かしたまちづくりを進めます。

○ 身近にある自然の活用

身近にある海・山といった自然を活用しながら、区民との協働による自然を守り、育てる活動の実施や手軽にウォーキングやハイキングなどを楽しむ活動の促進など自然や文化に触れ合い、大切にしながら生活できる環境づくりを目指します。

《略》

○ 歴史的資源の活用

区内にある歴史的資源の紹介によって、「わがまちの魅力」を再発見してもらい、交流のきっかけづくりを行う。

《略》

まちづくりの方向性④ 安全・安心な美しいまちづくり

概要

災害への備えを十分に、犯罪や事故の起こりにくい、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めるとともに、落書きやごみのない美しいまちづくりを進めます。

○ 防災・防犯活動

(1) 住民参加による防災訓練の充実などにより、地域の防災力の向上を図るとともに、自主防災組織との連携を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

- ○○地区では町内会で雨量計を設置。○ミリ以上の雨が降った場合は避難を呼びかけ合う、町内会全員にメールを配信するなど基準の作成等に取り組む。
- ○○地区では子ども会を中心とした防災訓練を定期的実施。自分たちの足で避難経路を確認し、家族で話し合ってもらうことで日頃から防災意識の啓発を図る。

(2) 関係機関と連携しながら、子どもの登下校時における見守りや夜間パトロールなどの活動を促進し、地域の防犯力の向上を図ります。

- 継 ○○地区では、○○商店街振興組合が中心となって、警察や区役所等の関係機関と連携しながら、毎月第3金曜日に夜間パトロールを実施する。
- 新 ○○地区では、警察や消費者センター等と連携しながら、女性を対象とした一人歩き時の防犯教室の開催や、高齢者を対象とした特殊詐欺対策教室の開催、子どもを持つ保護者を対象とした食の安全教室の開催などに取り組む。

○ 花づくり活動や町内清掃など美化活動

(1) 花壇づくり、リバーフロント住宅等における飾花による良好な外観づくりなどの地域活動を支援します。

- 継 ○○地区では、道路や公園等にボランティアを中心とした花壇づくりを行うなど、花と緑あふれるまちづくりを目指す。

(2) 町内清掃などを通じて美しい〇区づくりに取り組みます。

- 新 ○○地区では、○○商店街の空き店舗のシャッターへの落書き対策として、美術系大学生によるペイントを行ってもらい、にぎわいづくりにも寄与する取組とする。

まちづくりの方向性⑤ 健康で心豊かに暮らせるまちづくり

**概要**

子育てのしやすい環境づくりを進めるとともに、全ての区民が健康で心豊かに生活できる地域づくりを進めます。

**【主な取組】**

○ 子育て支援活動

住民間の交流が希薄で子育て世代が孤立しやすいという状況に対応するため、子育てオープンスペースなどの活動を支援するとともに、活動情報の発信を行い、子育てに対する不安を払拭し、子育て世代の交流を促進します。

《略》

○ 高齢者や子どもの見守り活動

(1) 地域のコミュニティ団体相互のネットワークにより、子どもや高齢者の見守り活動や子どもと高齢者の交流活動などに取り組み、誰もが住みやすい環境づくりを進めます。

《略》

○ 住民間の交流活動

(1) 高齢者がいつまでも健康でいきいきとした生活を送るため、介護予防教室など地域の方が中心となって実施できる環境をつくり、高齢者が身近なところで気軽に参加できるよう支援します。

《略》

- (2) 空き家等を活用した子どもの遊び場づくりや「ふれあい・いきいきサロン」の設置による高齢者の生きがいづくりなど、人と人のふれあいと地域の助け合いにより、子どもも高齢者も元気なまちづくりを進めます。

《略》

#### 4 ○区における広域都市圏の発展に資する取組の実施

本市は、平成5年（1993年）に13市町により「広島広域都市圏形成懇談会」を設立し、平成24年（2012年）2月には新たな加入を機に「広島広域都市圏協議会」に改称し、さらに平成27年（2015年）7月には東は三原市エリアから西は山口県柳井市エリアまでの24市町からなる、広島広域都市圏を形成しています。

全国的に少子化による人口減少や高齢化が進展する中であって、本圏域も例外ではないことから、これらの進展を抑制し、圏域経済を活性化し自律的で持続的な発展を図るとともに、中四国地方の発展に寄与する役割を担い続けていくためには、ヒト・モノ・カネ・情報の循環を基調とする「ローカル経済圏」を構築する必要があります。

こうしたことから、中区においても地域資源等の活用などにより、広島広域都市圏の発展に資する取組を推進することとしています。

具体的な取組は次のとおりです。

##### (1) 西国街道を軸とした歴史散歩イベントの開催【連携市町：広島市東区・西区、海田町、大竹市等】

○区では、本市の中心市街地のにぎわいと発展の基礎となった西国街道と広島城城下町の歴史について、市民に広く親んでもらうことを目的として、まち歩き支援アプリ「城下町広島ぶらり」を開発・導入し、これを活用した取組（まちあるき宝探しイベントなど）を実施しています。

このアプリは現在、中区等の広島市内中心部のみで利用することができますが、これを同じく西国街道が通る周辺市町に所在する歴史・文化資源（ランドマーク）・古地図の情報を取り込み、広域都市圏内で活動する各団体や住民が、自由にこれを活用した取組を実施することができるよう、アプリの内容の充実を図るとともに、これらを活用した歴史散歩イベントを開催します。

《略》

#### 5 計画の推進に当たって

##### (1) 推進体制

本アクションプランを推進していくためには、行政だけでなく、住民や地域団体、企業、NPOといった地域全体で取り組む必要があります。このため、エリアマネジメントなど効果的な手法によって、様々な主体との連携を図りながら、効率的にまちづくりを推進します。

##### (2) アクションプランの進行管理

本アクションプランに掲げる取組の実施状況の点検及び進行管理を行うため、○区コミュニティ交流協議会等に毎年報告するとともに、区のホームページなどで公表します。